

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：3月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apiir.or.jp

ポイント

●4月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、**3月の訪日外客総数(推計値)は6万6,100人**となった(2019年同月比-97.6%)。3月1日以降、1日当たりの入国者数の上限が7,000人へ引き上げられたこともあり、前月(1万6,700人)から大幅増加し、21年7月(5万1,055人)以来の5万人超の水準となった。結果、1-3月期では、10万566人(2019年同期比-98.8%)と、水準は20年10-12月期(14万2,732人)以来となったが、依然低位での推移が続く。

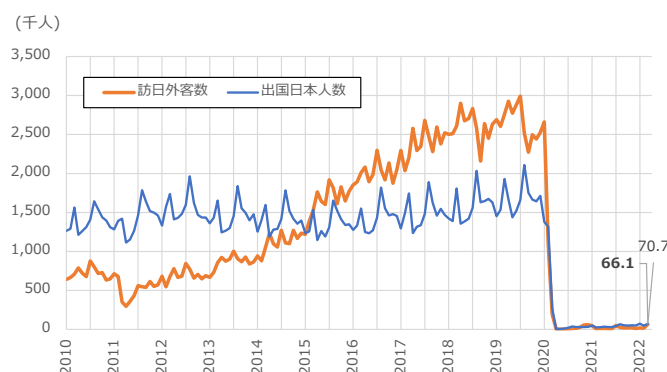
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、ベトナムが1万100人で最も多かった。次いで中国が9,800人、韓国が6,700人、インドネシアが5,500人、フィリピンが4,200人であった。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、1月は1万7,766人**となった(2019年同月比-99.3%)(図2及び表3)。うち、観光客は649人(同-100.0%)、商用客は1,455人(同-98.9%)、その他客は1万5,662人(同-92.4%)であった。商用客とその他客は前月(商用客：1,063人、その他客：1万320人)から増加したものの、観光客は依然低水準で推移している。

▶4月に入り**日本の水際対策が更に緩和**された。政府は4月8日に水際対策として106カ国・地域に対して実施していた入国拒否措置を解除するとともに、10日から**1日当たりの入国者数の上限を1万人へと引き上げた**。観光目的での入国は依然認められていないが、今後も留学生や技能実習生などを中心に訪日外客数は増加すると予想される。また、政府は4月1日に日本人の海外渡航に関し、感染症危険情報レベルを米国、英国など106カ国に対して引き下げた。今後、各国の水際対策緩和の進捗次第ではあるが、インバウンド需要よりアウトバウンド需要の方が早期に回復する可能性がある。なお、3月の日本人出国者数(推計値)をみれば、7万700人(19年同月比-96.3%)と前月(4万6,932人)から増加している(図1)。

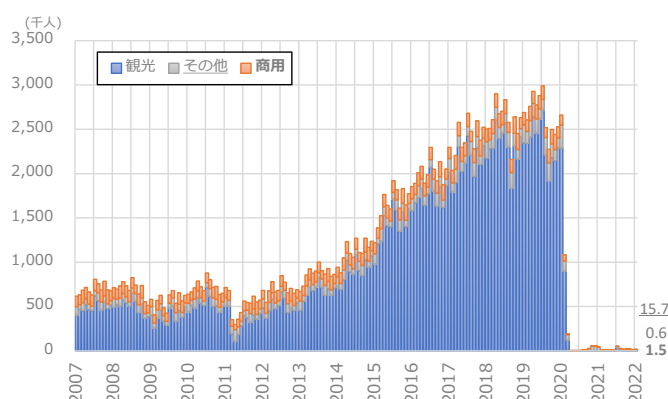
▶**世界では入国規制の緩和が更に進み、観光客の受け入れを再開している**。シンガポールやマレーシアでは4月1日から、ワクチン接種を条件に隔離期間を設けず外国人の入国を認め、観光客の受け入れを再開した。また、シンガポールにおいては、ワクチンの追加接種が進捗したこともあり、屋外でのマスク着用義務を解除する等の規制緩和も併せて進めている。先行きはウクライナ情勢の悪化が懸念されているものの、規制緩和によって世界の旅行需要の回復が見込まれている。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年、22年1月は暫定値、

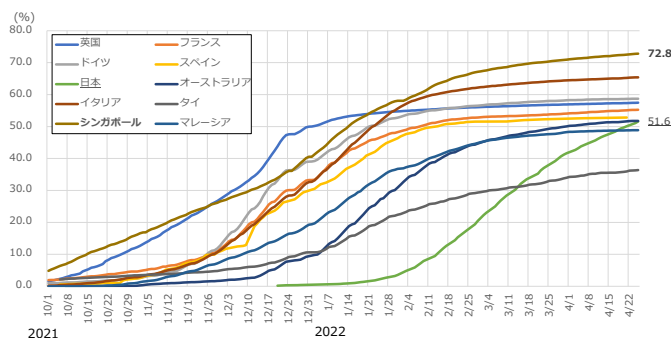
図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注)「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 ワクチンの追加接種状況



出所:Our World In Data より作成(4月25日時点)

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

● 3月関西の財貨・サービス貿易及び2月のサービス産業動向

▶ 関西3月の輸出は前年同月比+15.1%と13カ月連続の増加だが、前月(同+20.3%)から減速した(図4)。輸出増に寄与したのは主に医薬品や映像機器等であった。一方、輸入額はエネルギー関連財の価格高騰の影響が続き、同+27.1%と14カ月連続で増加した(前月：同+30.8%)。結果、関西の貿易収支は2,825億円と2カ月連続の黒字だが、伸びは同-24.9%と2カ月連続で縮小した。1-3月期の貿易収支は2,970億円の黒字、黒字幅は前年同期比-60.1%と2四半期連続で縮小した(10-12月期：同-12.5)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西3月の対中輸出は前年同月比+6.2%と22カ月連続の増加だが、前月(同+26.8%)から大幅減速した。うち輸出増に寄与したのは映像機器や電気回路等の機器等であった。一方、対中輸入は同+24.8%と10カ月連続で増加し、前月(同+2.5%)から加速。うち、輸入増に寄与したのは通信機や衣類及び同附属品等であった。1-3月期の対中輸出は前年同期比+10.9%と8四半期連続の増加だが、前期(同+17.4%)から縮小。一方、対中輸入は同+20.4%と3四半期連続で増加し、前期(同+18.9%)から拡大した。

▶ 3月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は1万284人と前月(3,499人)から増加した(2019年同月比-98.6%)。また、日本人出国者数は6,197人と前月(4,736人)から増加(同-98.5%)。結果、1-3月期の訪日外客数は1万7,279人(19年同期比-98.2%)、日本人出国者数は1万7,589人(同-97.1%)と、日本人出国者数が訪日外客数の水準を幾分上回った。

▶ 2月のサービス業はまん延防止等重点措置の影響により活動指数は悪化した。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み：2015年平均=100)をみれば(図7)、2月は96.8で前月比-1.3%低下し、3カ月連続のマイナスとなった(前月：同-0.2%)。対面型サービス業指数*は82.8で同-3.8%低下し、2カ月連続のマイナス(前月：同-1.5%)。2月中にまん延防止等重点措置の対象が最大36都道府県まで拡大された影響で、飲食店、飲食サービス業(同-8.4%)や娯楽業(同-5.7%)の経済活動が低下した。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、72.8と前月比-2.0%低下し、2カ月連続のマイナス(図7)。まん延防止等重点措置の延長に伴い、各自治体の旅行需要喚起策の停止が継続された影響もあり、宿泊業(同-6.2%)や旅行業(同-13.1%)はいずれも2カ月連続で悪化した(前月：宿泊業：同-23.2%、旅行業：同-40.6%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

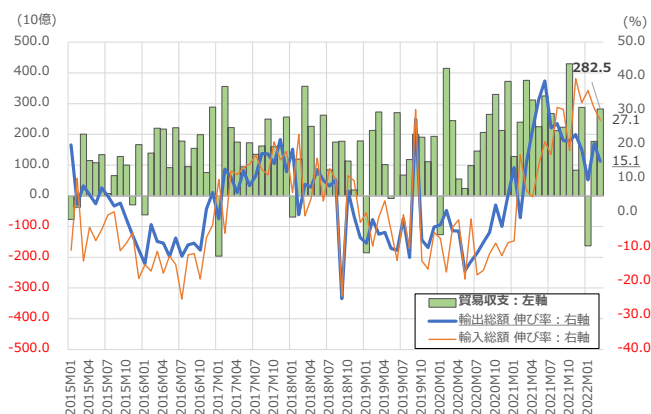
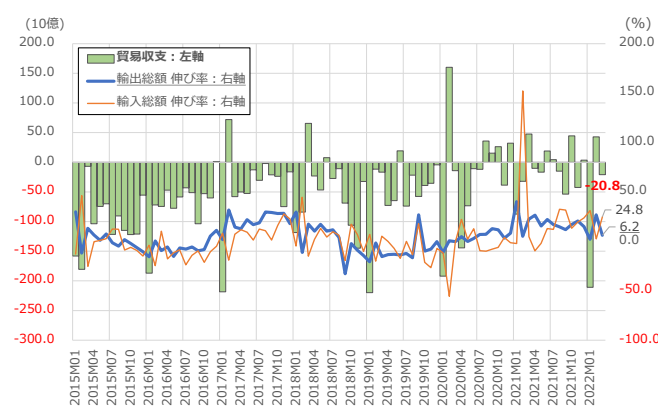
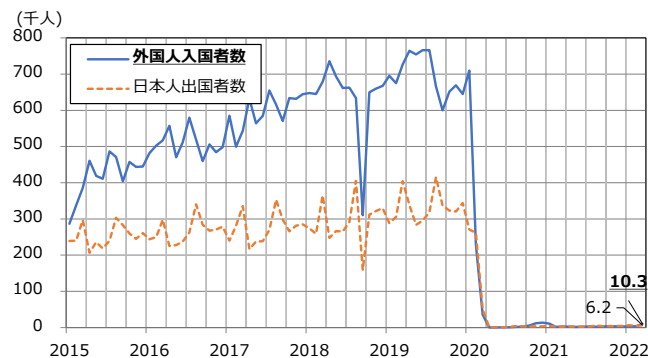


図5 関西 対中貿易の推移



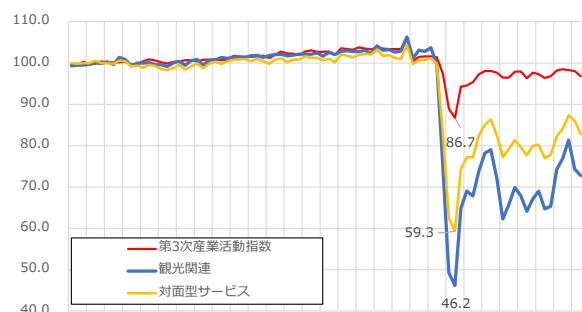
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2022年3月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業：2015年=100



出所：経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 1月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、1月の関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数(全体)は 5,210.5 千人泊であった(表 1)。1月に入り、三重県、京都府、大阪府、兵庫県にまん延防止等重点措置が実施された影響もあり、2019 年同月比は-38.0%と前月から減少幅(同-21.6%)は拡大した。

▶日本人延べ宿泊者数は 5,171.6 千人泊であった。2019 年同月比-14.1%と前月の減少幅(同+3.9%)から再びマイナスに転じた(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 1,746.1 千人泊、京都府が 1,106.6 千人泊、兵庫県が 920.8 千人泊、三重県が 426.7 千人泊、和歌山県が 268.0 千人泊、滋賀県が 190.9 千人泊、福井県が 166.3 千人泊、奈良県が 126.3 千人泊、徳島県が 115.5 千人泊、鳥取県が 104.4 千人泊であった。

▶外国人延べ宿泊者数は 38.9 千人泊と、2019 年同月比-98.4%減少した(前月：同-98.1%)(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 26.8 千人泊、京都府が 6.1 千人泊、兵庫県が 1.6 千人泊、三重県が 1.4 千人泊、滋賀県が 1.0 千人泊、奈良県が 0.7 千人泊、和歌山県が 0.5 千人泊、福井県が 0.3 千人泊、徳島県が 0.2 千人泊、鳥取県が 0.1 千人泊であった。

▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,451.0 千人泊(2019 年同月比+32.2%)、県外は 3,578.2 千人泊(同-48.1%)であった。まん延防止等重点措置が実施され、自府県民を対象とした旅行需要喚起策が一時停止されたこともあり、県内のプラス幅は前月(同+73.9%)から-41.7%ポイント縮小した。

▶2月の全国延べ宿泊者数(全体、1 次速報ベース)は 23,644 千人泊であった。19 年同月比-45.7%と減少幅は前月(同-33.4%)から拡大した。関西の先行きについては、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県のまん延防止等重点措置の期間が延長されたこともあり、延べ宿泊者数は弱い動きが続くと予想される。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

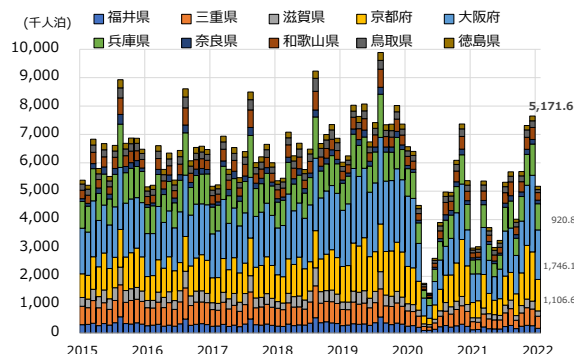


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

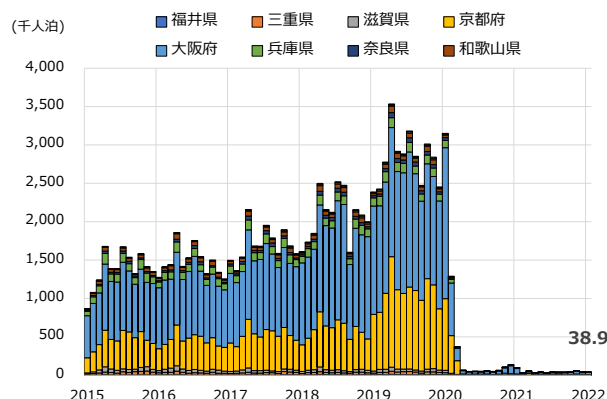
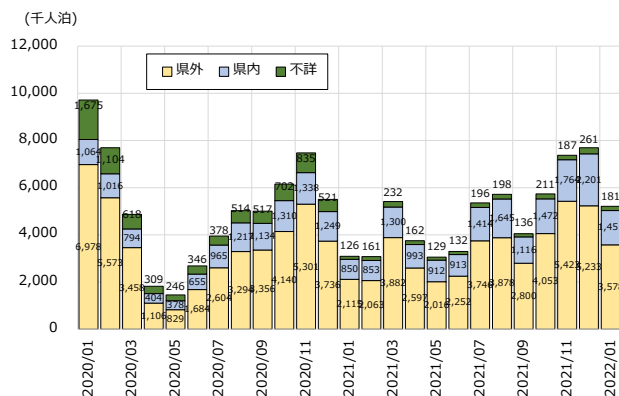


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：1 月

2022年1月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)
福井県	166.6	37.6	-38.8	166.3	38.8	-37.2	0.3	-74.8	-95.5
三重県	428.1	49.5	-27.4	426.7	51.5	-25.0	1.4	-69.4	-93.2
滋賀県	191.9	34.9	-33.9	190.9	35.4	-27.5	1.0	-22.5	-96.3
京都府	1,112.7	104.7	-44.0	1,106.6	107.3	-11.5	6.1	-37.4	-99.2
大阪府	1,772.9	64.1	-47.7	1,746.1	72.9	-11.8	26.8	-61.8	-98.1
兵庫県	922.5	85.2	-12.8	920.8	87.3	-3.2	1.6	-74.7	-98.5
奈良県	127.0	66.6	-11.3	126.3	66.5	10.1	0.7	87.2	-97.4
和歌山県	268.5	50.5	-20.0	268.0	52.1	-13.4	0.5	-76.1	-97.9
鳥取県	104.5	4.8	-42.7	104.4	5.5	-37.8	0.1	-82.5	-99.0
徳島県	115.7	80.1	-27.2	115.5	80.1	-24.0	0.2	80.0	-97.4
関西2府4県	4,395.5	74.5	-39.0	4,358.7	79.5	-10.5	36.8	-59.2	-98.4
関西2府8県	5,210.5	68.6	-38.0	5,171.6	72.8	-14.1	38.9	-60.0	-98.4
全国	28,435.8	64.5	-33.4	28,216.0	67.6	-15.7	219.8	-52.0	-97.6

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8~10 及び表 1)

表2 2022年3月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	3月	3月		1-3月	1-3月	
総数	2,760,136	66,100	-97.6	8,053,797	100,600	-98.8
総数(韓国・その他除く)	2,068,820	46,300	-97.8	5,729,835	68,300	-98.8
韓国	585,586	6,700	-98.9	2,080,773	8,900	-99.6
中国	691,279	9,800	-98.6	2,169,317	13,700	-99.4
台湾	402,433	2,500	-99.4	1,189,760	3,600	-99.7
香港	171,430	500	-99.7	505,046	600	-99.9
タイ	147,443	2,200	-98.5	347,937	2,700	-99.2
シンガポール	43,687	300	-99.3	92,465	500	-99.5
マレーシア	50,615	600	-98.8	118,674	900	-99.2
インドネシア	39,609	5,500	-86.1	96,708	6,500	-93.3
フィリピン	48,277	4,200	-91.3	119,434	6,200	-94.8
ベトナム	47,881	10,100	-78.9	122,633	13,100	-89.3
インド	17,752	2,300	-87.0	39,291	6,100	-84.5
豪州	44,175	600	-98.6	172,896	900	-99.5
米国	176,564	3,200	-98.2	372,424	5,600	-98.5
カナダ	37,959	400	-98.9	84,135	700	-99.2
メキシコ	5,740	200	-96.5	12,244	300	-97.5
英国	38,610	800	-97.9	83,718	1,400	-98.3
フランス	29,408	800	-97.3	62,125	1,600	-97.4
ドイツ	28,659	700	-97.6	53,401	1,100	-97.9
イタリア	14,956	400	-97.3	26,886	700	-97.4
ロシア	8,916	300	-96.6	17,831	700	-96.1
スペイン	11,701	600	-94.9	23,618	900	-96.2
中東地域	11,726	300	-97.4	19,292	500	-97.4
その他	105,730	13,100	-87.6	243,189	23,400	-90.4

表3 2022年1月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月		1月	1月		1月	1月	
総数	2,689,339	17,766	-99.3	2,345,029	649	-100.0	138,566	1,455	-98.9	205,744	15,662	-92.4
韓国	779,383	1,264	-99.8	723,799	62	-100.0	30,426	103	-99.7	25,158	1,099	-95.6
中国	754,421	1,490	-99.8	654,818	160	-100.0	27,959	152	-99.5	71,644	1,178	-98.4
台湾	387,498	492	-99.9	367,231	22	-100.0	9,816	40	-99.6	10,451	430	-95.9
香港	154,292	71	-100.0	149,767	17	-100.0	2,983	10	-99.7	1,542	44	-97.1
タイ	92,649	356	-99.6	85,718	19	-100.0	3,065	32	-99.0	3,866	305	-92.1
シンガポール	22,676	72	-99.7	19,336	8	-100.0	2,774	7	-99.7	566	57	-89.9
マレーシア	31,399	171	-99.5	27,893	6	-100.0	2,061	8	-99.6	1,445	157	-89.1
インドネシア	32,477	484	-98.5	26,593	7	-100.0	1,801	23	-98.7	4,083	454	-88.9
フィリピン	35,987	952	-97.4	24,727	43	-99.8	2,726	56	-97.9	8,534	853	-90.0
ベトナム	35,375	424	-98.8	5,657	32	-99.4	2,114	10	-99.5	27,604	382	-98.6
インド	12,468	2,058	-83.5	2,390	3	-99.9	4,503	84	-98.1	5,575	1,971	-64.6
豪州	81,063	220	-99.7	77,030	19	-100.0	2,198	20	-99.1	1,835	181	-90.1
米国	103,191	1,785	-98.3	75,253	75	-99.9	16,971	125	-99.3	10,967	1,585	-85.5
カナダ	22,293	223	-99.0	18,665	13	-99.9	1,706	15	-99.1	1,922	195	-89.9
メキシコ	3,615	110	-97.0	2,797	1	-100.0	368	12	-96.7	450	97	-78.4
英国	21,554	485	-97.7	14,225	17	-99.9	4,267	36	-99.2	3,062	432	-85.9
フランス	15,320	676	-95.6	8,539	19	-99.8	3,572	84	-97.6	3,209	573	-82.1
ドイツ	11,358	335	-97.1	5,525	15	-99.7	4,254	63	-98.5	1,579	257	-83.7
イタリア	6,033	252	-95.8	3,424	7	-99.8	1,612	26	-98.4	997	219	-78.0
ロシア	6,316	220	-96.5	4,062	11	-99.7	1,237	16	-98.7	1,017	193	-81.0
スペイン	4,382	301	-93.1	2,704	3	-99.9	760	21	-97.2	918	277	-69.8
中東地域	3,936	161	-95.9	2,311	6	-99.7	839	56	-93.3	786	99	-87.4
その他	71,653	5,164	-99.9	42,565	84	-100.0	10,554	456	-100.0	18,534	4,624	-99.8

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年4月20日付より筆者加工